

稲城市農家が小学生と共に田植えを実施

掲載日：令和 7 年 7 月 9 日（水）

稲城市立稲城第二小学校は 6 月中旬、市内の田んぼで田植えを行った。同校は毎年市内農家の協力の下、粃ふりから収穫したお米を食べる感謝祭まで、学年ごとに体験授業を行っており、今回の田植えは 4 年生 42 人が担当した。

田植えは市内農家 4 人の指導の下、稲城市職員と J A 東京みなみの職員も参加。児童らは裸足で田んぼに入り泥だらけになりながら田植えを行った。児童は、「貴重な体験ができて楽しかった。農家さんやお米に感謝しながら食事をしたい。」と話した。

市内農家で田植え指導をした高橋一朗さんは（56）は「暑い中ではありましたが一生懸命児童の皆さんが頑張ってくれてうれしかった。今お米の値段が上がっていたりするので、この体験が思い出に残ってくれば幸い」と話した。



田植えをする児童の様子（東京都稲城市で）